

愛称「萩・石見空港」

石見空港の概要

平成29年 4月

島根県 益田県土整備事務所
石見空港管理所

目 次

1. 空港の概要	1
2. 空港の沿革	2
3. 空港の施設概要	4
4. 空港の運用時間	5
5. 空港の管理体制（組織）	5
6. 定期路線及び便数	6
7. 空港の利用状況	
7-1. 定期便の運航実績	7
7-2. チャーター便の運航実績	8
7-3. その他の航空機による利用実績	10
7-4. 定期便貨物及び郵便物の取扱い状況	10
7-5. 年度別着陸回数	11

1. 空港の概要

島根県は、県域面積約6,700km²、東西方向約220kmに及ぶ細長い地形となっており、県東部の出雲地方、離島の隠岐には従来からそれぞれ出雲空港、隠岐空港があり、高速交通サービスを楽しんできた。

しかし、益田・浜田両市を中心とする県西部の石見地方及び萩・長門両市を中心とする山口県北東部は、圏域人口33万人を擁しながら既存の空港、新幹線や高速道路との連絡が悪く、全国の幹線高速交通網から外れた交通空白地域となっており、土地条件や水資源あるいは観光等の面において開発の可能性を有しながら、産業の停滞、若年労働力の域外流出による圏域人口の減少など多くの課題をかかえてきた。

そこで島根県は、昭和48年に策定された「島根県新長期計画」の中で、高速ネットワークの形成を最重点課題に掲げ、大都市への時間距離短縮による格差解消をめざし先行的な整備が急務と提言し、石見地域に新空港を建設する構想が発表された。

新空港の建設は、昭和61年第5次空港整備5箇年計画に組み込まれ、昭和62年12月には飛行場の設置許可が下り、翌年8月から工事に着手した。4年を経た平成5年2月、空港施設整備が完了し、同年5月には空港の顔であるターミナルビルも完成した。同年7月2日、石見空港は県下3番目の第3種空港として待望の開港となった。

平成14年3月には、石見空港利用拡大促進協議会が、より多くの方々への利用を目指し愛称を募集したところ、多数の応募の中から「萩・石見空港」と決定された。

定期便の就航は当初東京・大阪1便ずつでスタートした。その後東京便については平成9年に日2便に増便、平成14年に減便となり再び日1便で運航していたが、平成25年11月に国土交通省による羽田発着枠政策コンテストで東京便1枠が配分され、平成26年3月30日から2年間の予定で東京2便が運航していた。平成27年12月には政策枠コンテスト評価検証に係る懇談会においてその取り組みが認められさらに2年間の継続となった。大阪便については平成23年から休便となったが、以来期間限定運航が続いており平成29年度は8月4日から8月21日の運航予定となっている。

なお、2便化となった平成27年度の東京便乗降客数は、年々増加し平成10年度以来17年ぶりに12万人を超え、島根県西部及び山口県北東部の空の玄関として観光やビジネスに利用されている。

また、地域の自立と発展において引き続き重要な役割を担っている当空港では、今年度も「萩・石見空港まつり」や滑走路を開放し昨年全国から3千人を超えるランナーが参加した「石見空港マラソン全国大会」、参加者ほとんどが感動したと答えているサイクリングイベント「INAKAライド」の開催を予定している。

一方、国土交通省の大阪航空局及び大阪管区気象台の石見空港出張所は平成21年4月1日のRAG化に伴い撤退した。

2. 空港の沿革

- S48. 3 島根県新長期計画の中で「石見部に新空港の建設」の構想を発表
- S51. 3 石見地区空港基本調査を実施（6候補地を抽出）
- S53. 10 「石見空港建設促進期成同盟会」を結成
- S56. 3 空港立地可能性調査を実施（益田市高津地区を適地と決定）
- S58. 7 県議会に「石見空港建設促進議員連盟」が発足
- S58. 9 「石見空港調査統合調整委員会」を設置（会長：岡田 清）
- S59. 1 「石見空港をつくる市民の会」を結成（会長：益田商工会議所会頭）
- S59. 8 空港基本設計に着手
- S61. 4 県が「石見空港建設調査事務所」を益田市に設置
- S61. 6 空港整備事業計画案を決定
- S61. 11 石見空港が第5次空港整備五箇年計画に組入決定
- S62. 4 島根県が「石見空港建設事務所」を益田市に設置
- S62. 5 昭和62年度政府予算成立（石見空港実施設計調査費等計上）
- S62. 6 益田市が「石見空港対策事務所」を設置し、「石見空港建設事務所」に配置
- S62. 7 島根県が飛行場設置許可を申請
- S62. 12 石見空港の設置許可
- S63. 3 最初の用地売買契約が成立
- S63. 8 盛土試験工事着手
- S63. 12 航空灯火設置許可
- H 1. 6 本体用地造成工事、場外排水施設工事着手
- H 2. 8 照明施設工事着手
- H 3. 12 飛行場施設変更許可（中型ジェット機対応）
滑走路工事、誘導路工事、エプロン工事着手
- H 4. 1 航空灯火変更許可（中型ジェット機対応）
- H 4. 7 ターミナルビル工事着手
- H 4. 11 エプロン工事完了
- H 5. 1 滑走路工事、誘導路工事、照明施設工事完了
乗り入れ航空会社「エアーニッポン」に決定
- H 5. 2 本体用地造成工事完了
- H 5. 3 飛行場完成検査、航空灯火完成検査、飛行検査
同上検査合格
- H 5. 5 飛行場供用開始届け出
ターミナルビル工事完了
- H 5. 5. 27 供用開始の告示
- H 5. 5. 28 路線認可
- H 5. 7. 2 石見空港開港（羽田、伊丹間各1便、A320-200（166人乗））
- H 5. 7. 10 初の国際チャーター便（韓国）が就航
- H 5. 7. 31 利用客1万人達成
- H 6. 3. 26 利用客10万人達成
- H 6. 9. 2～27 石見一出雲空路開発実験運航
- H 7. 11. 4～17 石見一出雲空路開発実験運航
- H 9. 2. 23 利用客50万人達成
- H 9. 3. 6 東京（羽田）線2便化決定
- H 9. 7. 1 東京（羽田）線2便化就航開始（羽田間2便、伊丹間1便）

H11. 11. 1	東京（羽田）線減便（火、木、土のみ2便）
H12. 4. 1	東京（羽田）線復便（2便）
H12. 4. 2	利用客100万人達成
H14. 3	愛称「萩・石見空港」が決定
H14. 12. 1	東京（羽田）線減便（2便→1便）
H21. 4. 1	RAG化（大阪航空局石見空港出張所の廃止） 大阪航空測候所石見航空気象観測所開設 （大阪管区气象台石見空港出張所の廃止）
H22. 4. 19	利用客200万人達成
H23. 1. 5	大阪（伊丹）線休止
H23. 7. 15	大阪便期間限定運航（H23. 7. 15～8. 31） 使用機材DHC8-400（74人乗）
H26. 3. 10	東京便が1便となり、初めて7万人達成
H26. 3. 30	東京（羽田）線2便化就航開始 （政策コンテストによりH28. 3. 26までの運航決定） 使用機材は第1便A320-200（166人乗）及び第2便B737-700（120人乗）
H27. 12. 29	利用客250万人達成
H28. 3. 27	東京（羽田）線2便化2年継続 （政策コンテストにより2年間運航継続決定）
H28. 3. 31	東京便年度乗降客12万人達成（17年ぶり）
H28. 8. 5	大阪便期間限定運航（H28. 8. 5～8. 22） 使用機材DHC8-400（74人乗）
H29. 8. 4	大阪便期間限定運航（H29. 8. 4～8. 21） 使用機材DHC8-400（74人乗）

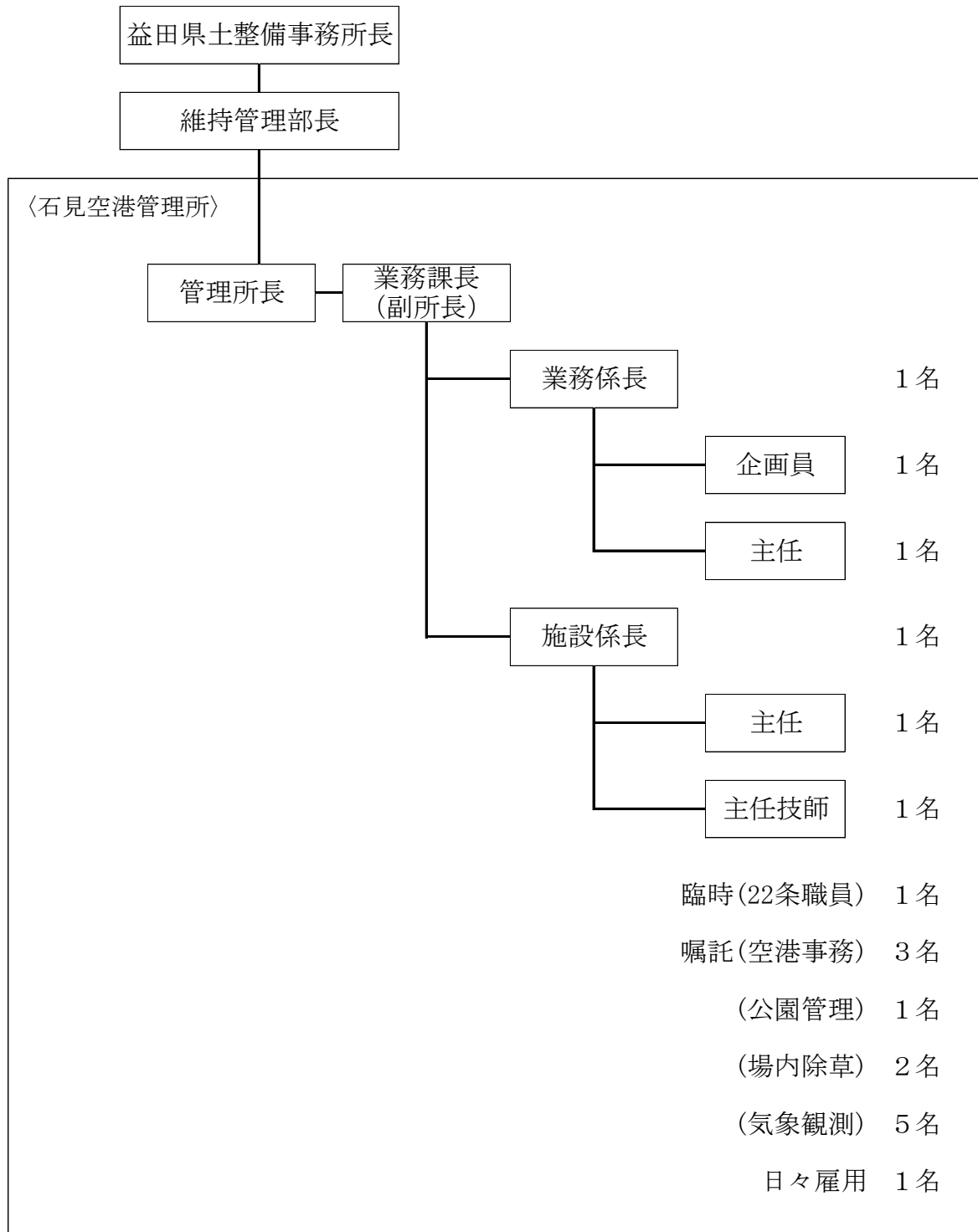
3. 空港の施設概要

(1) 空港の名称	石見空港
(2) 設置管理者	島根県
(3) 空港の位置	島根県益田市
(4) 標点の位置	北緯 34度40分35秒 東経 131度47分25秒 (世界測地系)
(5) 標点の高さ	54.0m
(6) 飛行場の種類	陸上飛行場 地方管理空港
(7) 着陸帯の等級	C級
(8) 空港の施設	管理面積 110.89ha 着陸帯 2,120m×300m 滑走路 2,000m×45m (北104度46分38秒東：真方位) 誘導路 190m×30m エプロン 18,150m ² 中型ジェット機用2バース 小型ジェット機用1バース
(9) 付帯施設	駐車場 11,370m ² (298台) 場周道路 5,480m×5.5m 保安道路 1,460m×5.0m
(10) 航空保安施設	照明施設 飛行場灯台、標準式進入灯 連鎖式閃光灯、簡易式進入灯 進入角指示灯、進入灯台 滑走路灯、滑走路末端灯 滑走路末端補助灯、滑走路中心線灯 接地帯灯、過走帯灯、誘導路灯 誘導路中心線灯、旋回灯、転回灯 風向灯、エプロン照明灯、航空障害灯 無線施設 ILS (計器着陸装置) VOR (超短波全方向式無線標識施設) DME (距離測定装置) RVR等気象観測装置一式
(11) その他施設	気象施設 ターミナルビル 3,418.6m ² (RC-3階建) 搭乗橋 1基 貨物ビル 328.5m ² (平屋建) 給油施設 レフェラ方式100klタンク 1基 消防施設 6,000ℓ級化学消防車 1台 3,000ℓ級化学消防車 1台 貯水槽 40m ³ ×9基 調節池 A調節池 22,980m ² B調節池 11,670m ² C調節池 3,100m ² D砂防ダム 1,540m ² D上調節池 26,990m ² D下調節池 15,200m ² E調節池 32,670m ² F調節池 640m ² G調節池 4,720m ² H調節池 760m ²
(12) 供用開始日	平成5年7月2日
(13) 事業費	総事業費 225億3,700万円 (補助事業) 直轄事業 17億6,200万円 (建設施設、無線施設、気象施設) ターミナルビル事業費 15億4,800万円

4. 空港の運用時間

8時から19時30分まで11.5時間

5. 空港の管理体制



6. 定期路線及び便数

石見－東京	2 往復	全日空	(B737-800)	H28. 10. 30～
			(A320-200)	H27. 10. 25～H28. 10. 29
			(A320-200)	H26. 3. 30～
			(B737-700)	H26. 3. 30～H27. 10. 24
	1 往復	全日空	(A320-200)	H25. 10. 27～H26. 3. 29
			(B737-800)	H24. 10. 28～H25. 10. 26
			(A320-200)	H24. 3. 25～H24. 10. 27
			(B737-500)	H23. 10. 29～H24. 3. 24
			(A320-200)	H23. 3. 27～H23. 10. 28
			(B737-500)	H22. 10. 31～H23. 3. 26
			(B737-700)	H21. 11. 1～H22. 10. 30
			(B737-500)	H13. 11. 1～H21. 10. 31
			(A320-200)	開港～H13. 10. 31
石見－大阪	1 往復	全日空	(DHC8-400)	H29. 8. 4～H29. 8. 21 (期間限定)
			(DHC8-400)	H28. 8. 5～H28. 8. 22 (期間限定)
			(DHC8-400)	H27. 7. 17～H27. 8. 31 (期間限定)
			(DHC8-400)	H26. 7. 18～H26. 8. 31 (期間限定)
			(DHC8-400)	H25. 7. 12～H25. 8. 31 (期間限定)
			(DHC8-400)	H24. 7. 13～H24. 8. 31 (期間限定)
			(DHC8-400)	H23. 7. 15～H23. 8. 31 (期間限定)
			(DHC8-300)	H22. 7. 1～H23. 1. 4
			(DHC8-400)	H16. 10. 1～H22. 6. 30
			(B737-500)	H13. 11. 1～H16. 9. 30
			(A320-200)	開港～H13. 10. 31

7. 空港の利用状況

7-1. 定期便の運航実績（搭乗者数、搭乗率及び就航率）

年度	東京便		大阪便		合計		就航率 (%)	備考	
	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)			
5	乗	29,397	67.4	19,334	43.5	102,710	57.4	98.7	7/2開港 搭乗者累計 102,710
	降	28,182	64.1	25,797	59.8				
	計	57,579	64.4	45,131	50.4				
6	乗	41,222	69.0	27,205	45.6	141,772	59.2	98.8	244,482
	降	40,687	67.5	32,658	54.6				
	計	81,909	68.3	59,863	50.0				
7	乗	43,882	72.8	23,062	38.6	135,962	56.7	98.6	380,444
	降	46,676	78.4	22,342	37.0				
	計	90,558	75.6	45,404	37.9				
8	乗	43,295	72.0	20,120	33.4	133,926	55.8	99.1	514,370
	降	45,858	76.2	24,653	41.1				
	計	89,153	74.2	44,773	37.3				
9	乗	60,664	58.5	18,356	30.8	162,349	49.7	98.0	7/1より東京2便化 676,719
	降	61,756	59.5	21,573	36.3				
	計	122,420	59.0	39,929	33.5				
10	乗	59,532	50.1	21,561	35.7	169,801	47.4	99.2	846,520
	降	63,887	53.7	24,821	41.4				
	計	123,419	51.9	46,382	38.5				
11	乗	55,721	52.5	23,861	39.6	153,457	46.1	99.3	999,977
	降	56,628	53.5	17,247	28.5				
	計	112,349	53.0	41,108	34.1				
12	乗	51,192	42.8	24,731	41.2	146,980	40.9	98.9	11/1~3/31 (冬季) は 東京の午前便が火・木・土運航 1,146,957
	降	51,591	43.0	19,466	32.6				
	計	102,783	42.9	44,197	36.9				
13	乗	56,564	52.1	26,819	49.3	161,312	49.5	99.6	11/1より機材変更 1,308,269
	降	57,068	52.6	20,861	38.3				
	計	113,632	52.3	47,680	43.8				
14	乗	47,991	62.8	23,006	49.9	139,642	57.0	99.2	12/1より東京便減便 1,447,911
	降	49,333	64.3	19,312	41.9				
	計	97,324	63.6	42,318	45.9				
15	乗	30,856	65.5	19,283	41.1	101,596	54.0	99.7	1,549,507
	降	30,918	65.8	20,539	43.6				
	計	61,774	65.7	39,822	42.3				
16	乗	28,786	61.8	14,848	41.1	90,251	54.5	97.6	10/1より機材変更 1,639,758
	降	31,742	68.5	14,875	40.8				
	計	60,528	65.2	29,723	40.9				
17	乗	30,783	61.5	12,900	48.7	80,931	52.7	99.0	1,720,689
	降	24,630	49.1	12,618	47.1				
	計	55,413	55.3	25,518	47.9				
18	乗	20,911	45.1	12,454	46.6	69,859	47.7	99.5	1,790,548
	降	21,590	46.4	14,904	55.6				
	計	42,501	45.7	27,358	51.1				
19	乗	21,677	47.5	11,502	42.9	71,604	49.4	98.9	1,862,152
	降	25,528	56.0	12,897	48.9				
	計	47,205	51.7	24,399	45.4				
20	乗	20,752	44.8	10,329	38.8	68,513	46.9	99.3	1,930,665
	降	25,433	54.9	11,999	44.8				
	計	46,185	49.8	22,328	41.8				
21	乗	20,835	46.1	9,514	35.5	67,067	46.5	98.8	11/1より機材変更 1,997,732
	降	25,001	55.0	11,717	43.6				
	計	45,836	50.6	21,231	39.6				
22	乗	21,846	49.1	10,993	62.2	72,592	58.4	99.0	大阪便1/5より運行休止 東京便3/30より機材変更 2,070,324
	降	28,288	63.6	11,465	64.7				
	計	50,134	56.4	22,458	63.4				
23	乗	27,813	53.2	2,192	63.0	66,272	59.5	98.5	大阪便季節運航(7/15~8/31) 2,136,596
	降	34,025	65.1	2,242	64.5				
	計	61,838	59.2	4,434	63.7				
24	乗	27,690	45.3	2,283	61.7	70,705	54.5	98.5	大阪便季節運航(7/13~8/31) 2,207,301
	降	38,482	62.8	2,250	60.8				
	計	66,172	54.1	4,533	61.3				
25	乗	28,787	47.4	2,419	64.1	79,423	61.5	98.7	大阪便季節運航(7/12~8/31) H26.3.30より東京2便化 2,286,724
	降	45,597	74.8	2,620	69.4				
	計	74,384	61.1	5,039	66.8				
26	乗	49,901	47.2	1,723	52.9	113,679	52.2	99.4	大阪便季節運航(7/18~8/31) 2,400,403
	降	60,298	57.1	1,757	52.8				
	計	110,199	52.2	3,480	52.8				
27	乗	60,873	54.9	1,603	49.2	125,722	55.1	98.0	大阪便季節運航(7/17~8/31) 2,526,125
	降	61,599	55.6	1,647	50.6				
	計	122,472	55.2	3,250	59.9				
28	乗	61,167	51.1	1,096	82.3	121,651	50.2	98.9	大阪便季節運航(8/5~8/22) 2,647,776
	降	58,315	48.6	1,073	80.6				
	計	119,482	49.9	2,169	81.4				

7-2. チャーター便の運航実績

・国際チャーター便

年度	月日	目的地	乗客 (人)	降客 (人)	使用機材	運航会社	備考
5	7/10～7/12	ソウル	72	72	B727	大韓航空	
	7/30～8/2	釜山、ソウル	148	148	B727	大韓航空	
	9/1～9/3	済州島	116	116	B727	大韓航空	
	9/9～9/14	西安、天津	155	155	B767-300ER	WAC	
6	8/19～8/24	寧波、北京	138	138	B737-300	中国国際航空公司	
	9/14	済州島		150	MD82	大韓航空	往路のみ
	11/22～11/24	釜山	99	100	MD82	大韓航空	
	12/8～12/12	シンガポール	230	229	B767-300ER	WAC	
7	7/14～7/17	釜山、ソウル	79	79	MD82	大韓航空	
	11/13～11/17	バンコク	154	153	B767-300ER	全日空	
	11/27～11/30	大邱(韓国)	108	107	MD82	大韓航空	
8	10/18～10/23	寧波、北京	137	137	B737-300	中国国際航空公司	
	1/23～1/29	フリスバース、 シドニー(オーストラリア)	195	196	B767-300ER	全日空	
9	10/8～10/13	済南、北京	123	128	B737-300	中国国際航空公司	
10	5/19～5/21	釜山	115	115	MD82	大韓航空	
	10/7～10/12	北京、上海	83	83	B737-300	中国国際航空公司	
	10/15～10/20	寧波、北京	139	139	B737-300	中国国際航空公司	
	10/23～10/26	釜山	127	127	MD82	大韓航空	
	1/22～1/25	香港	147	147	A320	香港トランスコン航空	
11	8/20～8/23	釜山	139	138	B737-400	アジアナ航空	
	10/21～10/25	上海	96	95	B737-300	中国国際航空公司	
12	8/23～8/25	清州(韓国)	112	112	MD82	大韓航空	
	8/25～8/28	清州(韓国)	130	130	MD82	大韓航空	
13	8/31～9/3	台北	155	155	B737-800	中華航空	
	9/27～10/2	寧波、上海	138	138	B737-300	中国国際航空公司	
14	8/23～8/26	釜山	154	146	B737-800	大韓航空	
16	10/22～10/25	台北	152	154	B737-800	中華航空	
	10/27～10/30	台北	154	154	B737-800	中華航空	
18	10/27～10/30	石見(台北より)	101	101	B737-800	中華航空	
	3/19～3/23	上海	145	145	A320	中国国際航空公司	
19	3/19～3/23	石見(上海より)	122	122	A320	中国国際航空公司	
	9/28～10/1	ハバロフスク	104	104	TU-204	ウラジオストク航空	
20	10/17～10/20	台北	106	106	B737-800	チャイエアライン	
	10/17～10/20	石見(台北より)	147	147	B737-800	チャイエアライン	
21	7/25～7/27	済州島	88	88	B737-800	済州航空	
22	10/22～10/25	台北	147	147	B737-800	チャイエアライン	
23	10/25～10/25	済州島	165	165	B737-800	ジン・エアー	
24	10/13～10/17	ウラジオストク	11	11	B737-700	インターアビエーション・ ジャパン	鳥取経由
	10/26～10/29	台北	141	141	B737-800	チャイエアライン	
	10/26～10/29	石見(台北より)	144	144	B737-800	チャイエアライン	
25	2/14～2/17	台北	139	139	B737-800	チャイエアライン	
26	7/19～7/22	台北	91	92	B737-800	チャイエアライン	
	11/13～11/16	台北	125	125	B737-800	チャイエアライン	
	2/6～2/9	台北	97	97	B737-800	チャイエアライン	

・国内チャーター便

平成29年3月末現在

年度	月日	目的地	乗客 (人)	降客 (人)	使用機材	運航会社	備考
12	1/19～ 1/21	那覇	150	150	B737-400	日本トランスオーション	
	1/19～ 1/21	石見（那覇より）	150	150	B737-400	日本トランスオーション	那覇よりチャーター便
13	7/ 5～ 7/ 7	中標津	115	115	B737-500	エアーニッポン	
	3/ 2～ 3/ 5	石垣、宮古	146	146	B737-400	日本トランスオーション	
14	3/ 6～ 3/ 9	石垣、宮古	149	149	B737-400	日本トランスオーション	
15	11/11～11/13	鹿児島	148	148	A320-200	エアーニッポン	
	11/11～11/13	石見（関空より）	58	58	A320-200	エアーニッポン	関空よりチャーター便
	3/23～ 3/26	石垣、宮古	148	148	B737-400	日本トランスオーション	
16	7/24～ 7/26	利尻、函館	115	115	B737-500	エアーニッポン	
	7/24～ 7/26	石見（関空より）	25	25	B737-500	エアーニッポン	関空よりチャーター便
	2/22～ 2/25	石垣、宮古	124	124	B737-400	日本トランスオーション	
17	2/24～ 2/27	石垣、宮古	150	150	B737-400	日本トランスオーション	
18	2/ 9～ 2/12	石垣、宮古	133	133	B737-400	日本トランスオーション	
20	2/26～ 3/1	石垣、宮古	123	122	B737-400	日本トランスオーション	
21	2/18～ 2/22	石垣、宮古	118	118	B737-400	日本トランスオーション	
23	2/18～ 2/22	石見（名古屋より）	72	73	ERJ-170	アジドリームエアラインズ	県営名古屋空港よりチャーター便
	2/18～ 2/22	種子島	73	73	ERJ-170	アジドリームエアラインズ	

7-3. その他の航空機（定期便・チャーター便を除く）による利用実績

平成29年3月末現在

年度	着陸回数	内訳	
		民間機	国有機等
5	511	476	35
6	616	526	90
7	472	425	47
8	337	282	55
9	299	229	70
10	326	247	79
11	353	266	87
12	332	283	49
13	227	185	42
14	278	221	57
15	262	175	87
16	242	163	79
17	207	154	53
18	220	177	43
19	219	140	79
20	164	115	49
21	188	140	48
22	175	125	50
23	189	101	88
24	189	99	90
25	204	84	120
26	147	80	67
27	152	82	70
28	330	273	57

7-4. 定期便貨物及び郵便物の取扱状況

平成29年3月末現在

年度	貨物		郵便物	
	取扱量(kg)	対前年度比(%)	取扱量(kg)	対前年度比(%)
5	31,685	—	3,781	—
6	98,391	310.5	6,006	158.8
7	87,875	89.3	6,610	110.1
8	93,488	106.4	5,955	90.1
9	124,089	132.7	6,644	111.6
10	151,754	122.3	6,507	97.9
11	131,962	87.0	6,894	105.9
12	150,073	113.7	6,421	93.1
13	131,523	87.6	7,095	110.5
14	141,279	107.4	7,494	105.6
15	134,739	95.4	11,422	152.4
16	167,691	124.5	11,098	97.2
17	143,478	85.6	14,893	134.2
18	52,257	36.4	3,722	25.0
19	24,436	46.8	3,549	95.4
20	9,305	38.1	3,192	95.4
21	7,461	80.2	3,247	89.9
22	4,545	60.9	2,363	72.8
23	2,082	45.8	2,363	100.0
24	1,496	71.9	—	—
25	788	52.7	—	—
26	1,078	136.8	—	—
27	1,199	111.2	—	—
28	1,205	100.8	—	—

7-5. 年度別着陸回数

平成29年3月末現在

区分 年度	民間機		その他				合計
	定期便	その他	国有機	自衛隊機	外国機	チャーター便	
5	539	476	31	0	4	10	1,060
6	723	526	90	0	0	7	1,346
7	722	425	47	0	0	6	1,200
8	724	282	55	0	0	4	1,065
9	988	229	68	2	0	2	1,289
10	1,085	247	76	3	0	10	1,421
11	1,004	266	85	0	2	4	1,361
12	1,083	283	49	0	0	5	1,420
13	1,091	185	42	0	0	8	1,326
14	967	221	53	2	2	4	1,249
15	730	175	87	0	0	4	996
16	713	163	79	0	0	6	961
17	725	154	53	0	0	1	933
18	727	177	42	1	0	3	950
19	725	140	70	9	0	2	946
20	725	115	49	0	0	6	895
21	723	140	46	2	0	4	915
22	638	125	50	0	0	2	815
23	408	101	86	2	0	4	601
24	410	99	88	2	0	4	603
25	413	84	114	6	0	2	619
26	771	80	65	2	0	6	924
27	762	82	69	1	0	0	914
28	741	273	55	2	0	0	1,071